

まぐまぐ

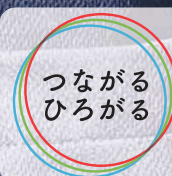
日向夏の袋掛け作業を頑張っています

autumn 3rd

社会福祉法人MAG 2025. 12. 13

1

Tsumugi



MAG

ごあいさつ

「まぐまぐ3rd」秋号をお届けします。秋号とは言え早くも冬の装いになりました。季節も大きく二極化しているように思えます。宮崎県は10月上旬からインフルエンザ患者数が増え始めているようです。皆さまも外出先から帰ったあとの手洗いうがいや換気をお願いできれば幸いです。各事業所の取り組みや年度途中5月以降に採用した職員も紹介させて頂いていますので併せてご確認頂きますようお願い致します。

業務執行理事 那 須 健太郎

それぞれの事業所から

第1 福祉課

障がい者支援施設エデンの園

サブマネージャー 工 藤 由 美

エデンの園では、秋の行事として

10月：『ミュージックフェスタ2025』を行い、たくさんの利用者が参加されました。日頃から練習を行い、当日は自慢の歌や踊り、演奏を十分に楽しめました。

また、10月は各エリアにて外出され色んな所へ行かれました。秋の花のコスモスを西都原に見に行かれ、青空の中散策を楽しめました。コスモスをバックに写真を撮りました、

11月：『こころのふれあう作品展見学』として、入所施設の利用者の作品を何点か出展しました。利用者、施設長、職員数名と見学に行きました。全員で記念写真を撮りました。行事に参加されたり、施設から外へ出られた時の利用者の表情は、とても明るく嬉しそうにされています。その姿がとても印象的でした。



生活介護事業所あゆむ

管理者 光 森 勇 人

11月22日、西都市民会館で開催された“なかまの輪和コンサート”にあゆむバンドが出演しました。あゆむが出来てから初めての大舞台、そして利用者の多くは初めてのステージ発表という事で、とても緊張されていました。しかし、実際の演奏は他の出演者にも負けないパフォーマンスで拍手喝采を受けました。出演した利用者の皆さんたちは「とても楽しかった」「沢山の拍手が気持ちよかった」と皆さんやり切った表情をされていました。

今後にあゆむバンドは、様々な場所で披露できるように日々の練習に励んでいきます。



第2福祉課

りんぐ リーダー 東 屋里 香

さちやかな秋晴れの日が続いております。

連日、ニュースではインフルエンザの話題が出ておりますが、体調管理を行いながら、日中活動を行っております。利用者の皆さま方、食べる事や、ドライブが好きで、「次の休みはパンが食べたいです。」、「公園でゆっくりコーヒーが飲みたいです。」等と、要望をお伝えして下さるため、職員も、美味しいパン屋のリサーチや、紅葉を楽しめるスポットを探す等、工夫を凝らしながら支援にあたっております。活動中の利用者の表情を見て、職員も、「次はどんな事を一緒にしてみようかな!」とワクワク感を感じる事ができています。

自分で選んだパンを食べて、最高の笑顔を披露して下さい。いる利用者の写真をご覧ください。こちらも幸せな気持ちになりますね♪



放課後等デイサービス麦わらぼうし

児童指導員 星 崎 悠 成

冬が近付いてきました!!

日に日に秋が深まり、冬の足音がしてきました。麦わらぼうしでは変わらず、子ども達の元気な声が響いています。秋晴れの日には、フェニックス動物園、国富町の町民祭、綾の吊り橋など、様々な所に外出しました。お友達と一緒に外出して遊ぶ楽しさ、「麦わらぼうしは楽しい!」と子ども達がワクワクしながら通える場所となるように工夫をしています。また、12/6(土)には初めての試みで「つながるマルシェ」と名付けたフリーマーケットを、地域福祉センター敷地内で開催いたしました。様々な出店やワークショップを行い、たくさんの方々に来場いただき大盛況のうちに終える事が出来ました。



つむぎ 職業指導員 外 赤 純 子

日向夏の作業はじまりました！！

つむぎ事業所がある綾町では、いろんな柑橘類が栽培されています。その中でも10～11月にかけては白い袋がかぶせられた日向夏畑をよく見かけます。

日向夏の袋かけ作業は、直径7～8cm以上になった実に白い紙製の袋をかけていきます。実の大きさの区別や傷の有無、色を判断して袋をかぶせ取れないようしっかりと口を結びます。すべてを一人でやるとなると難しいですが、つむぎではそれぞれができることを活かし利用者みなさんと職員が協力して作業を行っています。農家さんからは助かる喜んでいただいております。いろんな作業を経験できることに感謝です。

綾で育った日向夏、とても美味しいですよ！ぜひ食べてみてくださいね～！



相談サポートセンターこのみち 相談支援専門員 長 友 真佐子

「日々勉強です」

当事業所では、日々乳幼児から高齢者まで幅広く障がいや疾病により福祉サービスが必要な方の支援を行っています。その中で、不登校に対する支援がありますが、全国的にみても課題になっているところ です。

私たち相談支援専門員も、変化していく不登校対策や制度などをしっかり理解し、対応していかなければならず、先日は、宮崎市自立支援協議会の子ども支援部会と相談支援部会合同で、教育委員会とフリースクール代表、宮崎市障がい福祉課の協力を得て研修会を開催しました。私も、相談支援部会副部会長として準備から携わらせていただきましたが、関係機関の関心も高く、180名ほどの参加がありました。

相談支援専門員は、各関係機関や家族等の「つなぎ役」「調整役」でもあるため、日々変化する制度等の動きにアンテナを張りながら、それぞれの関係機関の役割、立場、できること、できないことを理解し、自身の役割を全うしていかなければいけないことを学べる機会となりました。



第3福祉課

結 目標工賃達成指導員 渡 部 強 士

今年も暑かった夏がやっと終わり、ようやく涼しくなり秋になったかと思えば、まるで冬になってきたかのような寒さの日も出てきました。寒暖差が大きい近頃、皆さま体調を崩されていないでしょうか？心身を整えることは、より良い毎を送るために必要なことですので、ご自愛ください。

さて、利用者みなさんは毎日仕事をがんばっておられますが、上記のようにリフレッシュの機会も大切です。結では、平日は仕事を行っていますが、土曜日はゆっくりしてもらったり、外出したりして身体を動かしたりする機会を設けることもあります。大きな公園に行った際には、いつもは見せないような表情で、楽しそうに身体を動かされる方もいらっしゃいました。思いっきり身体を動かすことも大切なことです。さて、年末年始には行事としてレクリエーションを行い、利用者みなさんに楽しんでもらおうと思っています。その際に、利用者みなさんがどのような表情をされるか私たちも今から楽しみです。

最後に、秋の夜長と言いますが、読書や動画鑑賞、ゲーム等で夜更かしをし過ぎて睡眠不足にならないよう私も生活リズムを整え、健康で充実した毎を送れるようにしたいと思います。



るるテラス 相談支援専門員 谷 口 博 孝

暑い日が続いた時期もいつしかすぎ「秋は夕暮れ。夕日の差して山の端いと近うなりたるに、からすの寝所へ行くとて、三つ四つ、二つ三つなど飛び急ぐさへあはれなり。～」という詩がある通り、鈴虫の鳴き声やなんとなしに月を眺める時期になりました。

るるテラスは令和5年9月に開業し早いもので3年目の年を迎えることができました。

日々、当事者の方々と関わる中で感じることは人それぞれの考え方がありそれぞれの価値観があるということです。その価値観を否定するのではなく受け入れて話し合いを重ねながらより良い方向へあるいは導き、時には一緒に考えて行くことが大切だなと感じるこの頃です。

時代の流れは速く社会の形も変化していますその中で大切にしないといけないのは「多様性」という事かもしれません、色づく紅葉の葉一枚、一枚の色彩がことなるように、人それぞれの価値観などを受け入れていける地域社会に相談支援を通して少しでも力になればと考えています。寒暖差の激しい日が続いていますみなさま、お体には十分にお気をつけください。

軽費老人ホーム コーポ住吉荘 マネージャー 櫻 木 香

9月 ①敬老会」笑顔と拍手に包まれた敬老会。入居者のみなさんのご長寿を心よりお祈りしました！これからも健やかに、笑顔あふれる毎日と一緒に重ねてまいりましょう。②入居者のみなさんが心を込めて制作した作品を、長寿ふれあい作品展に出展しました。

会場では「きれいだね」「すてき！」と笑顔が広がり、作品を通じたふれあいの時間となりました。

10月 ③9月のお彼岸にちなんだおはぎの振る舞いを、秋の名残として10月に実施しました。節を感じる甘味に、入居者のみなさんの笑顔と感謝の気持ちが広がりました。



新任職員紹介



渡 邊 亨
エデンの園



杉 村 ひろみ
エデンの園



寺 原 美穂
エデンの園



関 太
エデンの園



佐 藤 恵子
第2福祉課事務



濱 砂 美佐子
結



川 邊 晋太郎
結



黒 木 めぐみ
結



高 松 宏子
結



串 間 美 沙
このみち



武 田 友 美
麦わらぼうし



黒 木 純
麦わらぼうし



児 玉 孝 志
つむぎ



浜 松 博 子
コーボ住吉荘

土曜学校 メッセージ

金 桓基 牧師（宮崎めぐみ聖書教会）、張 宇成 牧師（宮崎教会）
荒平 大輔 牧師（宮崎北聖書キリスト教会）、山口 英希 牧師（宮崎清水町教会）
浅野 謙 牧師（霧島キリスト教会）

寄贈・寄附金 ありがとうございます (9月~11月)

イワタニ南九州株式会社様、幸野吉子様、国際タクシーグループ様、押川絵麻様、野口英郎様、都城点字・音訳友の会 中島めい子様、上野聖子様、宮元信子様、坂本匡久様、宮王丸郵便局様、山崎立美様、山崎稔様、おひさま保育園様、さくらデンタルクリニック様、手をつなぐ育成会様、永野六夫様、原口安子様、坂田幸一様、和田敏郎様、井上直子様、浜脇とし子様、GH心音様、川島栄一様、中原貴代美様、川野美幸様、渡邊亨様、宮崎千果様、清友の里様、甲斐節子様、廣島勇次様、猪俣光義様、トヨタレンタリース様、初田直樹様、長友健志様、大川内美智子様、日高安久様、宮崎県警察本部刑事部刑事企画課様、宮崎清水町教会様

編集後記

気が付けば、今年も残りわずかとなりました。利用者の皆さんと一年を振り返りながら過ごす時間をあたたかく感じます。皆さまにおかれましても、忙しい時期とは思いますが、ほっと安らぐひとときがありますよう、そして、穏やかな年末を迎えられることを心より願っております。

りんぐ リーダー 東屋 理香

■発行日 2025年12月13日 ■発 行 社会福祉法人MAG ■発行者 ゼネラルマネージャー 那須 健太郎
〒880-1114 宮崎県東諸県郡国富町三名2621-5 TEL.0985-75-4936 FAX.0985-75-0616
<https://mag-sw.com/> E-mail jimukyoku@mag-sw.com